学校番号	1009

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　NEXT　数学 A」　（数研出版）						
副教材等	「クリアー　数学Ⅰ＋A」　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 数学は正しい論理の積み重ねです。定義を正しく理解しましょう。
- 問題の解答は、ただ覚えたりそれを真似して似た問題を解いたりするだけでなく、解答で重要なことは何なのかという本質をしっかり理解して身につけるようにしましょう。
- 「何を理解して何を理解できていないか」を確認しながら学習しましょう。また、１つのことを学んだ後、それを振り返って考えるようにしましょう。

2　学習の到達目標

- 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することをめざす。
- 事象を論理的に考察したり、数学的な表現を用いることで、事象を的確に表現する力を養う。
- 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度､粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率・図形の性質・数学と人間の活動において、基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付ける。	場合の数と確率・図形の性質・数学と人間の活動において、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。	場合の数と確率・図形の性質・数学と人間の活動において、それらを相互に関連付けた内容を生活と関連つけたり発展させたりするなどした課題に対して、主体的に学習する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	場合の数	・集合の要素の個数 ・場合の数 ・順列 ・組合せ	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「重複を許して作る組合せ」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	確率	・事象と確率 ・確率と基本性質 ・独立な試行と確率 ・条件付き確率 ・期待値	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「原因の確率」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
二学期	平面図形	・三角形の角の二等分線 ・三角形の外心・内心・重心 ・チェバ・メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・円と直線 ・2つの円 ・作図	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「チェバ・メネラウスの定理の逆」「三角形の辺と角」「方べきの定理の逆」「コンピュータの活用」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	空間図形	・直線と平面 ・多面体	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「三垂線の定理」「正多面体の体積」「正多面体の種類」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
三学期	数学と人間の活動	・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・最大公約数・最小公倍数 ・整数の割り算 ・ユークリッドの互除法 ・1次不定方程式 ・記数法 ・座標の考え方 ・ゲーム・パズルの中の数学	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「２点間の距離」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度